



## 知事の新年あいさつ

青森県知事 三村 申吾

明けましておめでとうございます。

皆様には、清々しく新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、平素より、県政の推進に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、昨年の東日本大震災に際しては全国の皆様から様々な御支援をいただきましたことに、青森県民を代表して心より感謝申し上げます。

さて、大震災では本県においても県民の尊い生命や貴重な財産が失われ、港湾等の公共施設や、水産業を始めとする地域産業に大きな打撃を受けました。さらには観光客の減少をはじめとする間接被害など、県民生活のあらゆる分野に影響が及びました。

県では、震災発生直後から速やかに被災者支援対策や産業・雇用支援対策を講じるとともに、昨年5月には当面取り組むべき対策について「青森県復興プラン」をいち早く策定し、生活再建、産業・インフラ復興に向けてスピード感を持って取組を進めてきたところです。この間、東北新幹線の運転正常化、八戸港のフェリーやコンテナ航路再開、青森・ソウル便の定期航空路線の再開など、復興に向けた動きが着々と進んでおります。

観光面では、昨年4月から7月にかけて実施した「青森デザインレーションキャンペーン」を機に、震災後の厳しい状況にありながらも、多くのお客様が本県を訪れるまでに回復しつつあり、今後も本県観光のポテンシャルを存分に活かして復興から更なる発展へと結び付けて参りたいと考えております。

交通ネットワークについても着実に整備が進められ、昨年7月にはフジドリームエアラインズにより青森・名古屋便が8カ月ぶ

りに復活したほか、11月には新青森駅と市街地を結ぶ東北縦貫自動車道青森ICや三内丸山遺跡へのアクセスルートとして整備が進められてきた都市計画道路3・2・2号内環状線の石江工区や、青森市から夏泊半島へ向かう観光の道、平内町のホタテを輸送する産業の道として整備が進められてきた国道4号土屋バイパスがそれぞれ完成するなど、観光振興や地域産業の発展に大きな効果をもたらすものと期待しております。

さらに、復興道路の一部として八戸久慈自動車道の整備が国において決定されるとともに、県の重点課題として取り組んでまいりました上北横断道路「天間林道路」の新規着手が平成24年度政府予算案に計上されるなど、復興への力強い後押しとなるものと期待しております。

昨年12月、青森県が創造的復興に向けて今後10年程度の中長期的な視点に立って取り組むべき方向性を取りまとめた「青森県復興ビジョン」を策定しました。今後、復興への動きをさらに加速し、ビジョンに基づく創造的復興への取組を着実に進めながら、生活創造社会の実現を目指して参ります。そして、その取組の一環として、今後は危機管理体制の強化を図るとともに、孤立集落をつくらないという視点に立ち、防潮堤や避難道路等のインフラ整備を県民の命を守る「防災公共」として推進しながら、県民の皆様が暮らしやすさと安全・安心を実感できる、かけがえのない「ふるさと青森県」の県土づくりに取り組んでいきますので、皆様のより一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

皆様の御健勝と御多幸をお祈りし、新年の御挨拶といたします。